

【児童生徒の感染状況】

全道的に新型コロナの新規感染者数が減少しており、9月第3週以降、学校における集団感染は発生していない状況

【学校における感染予防の徹底の重要性】

感染再拡大への警戒を緩めることなく、学校の対策を万全とし、安全・安心な教育環境の提供により、子ども一人一人の学びを保障することが重要

I 校内に「持ち込ませない」

- SNSを活用し、集団感染等の要因・対策を、全道の学校・市町村と共有
 - ・ 感染の要因・傾向・対策等
 - ・ 感染症対策に係る専門家のアドバイス等
- 保護者向け啓発の実施
 - ・ 保護者向けに感染症対策の情報提供
(ex)本人及び家族が風邪症状であれば休ませることなど
 - ・ 家族の健康観察の徹底
 - ・ 保護者向け動画の配信等
- 専門家の助言等
 - ・ 専門家による養護教諭等への感染症予防に関するリモート助言や研修会の実施
 - ・ 感染制御や換気の専門家の学校訪問による感染症対策の確認、助言



II 校内で「感染を広げない」

- 希望する教職員、児童生徒がワクチン接種しやすい環境づくり
 - ・ 医師会と連携した動画(正しい理解促進)作成
 - ・ 教職員の優先接種に向けた依頼
 - ・ 児童生徒が接種しやすい環境づくり
 - ・ ワクチン接種の有無による偏見、差別の防止
- 感染拡大を予防する積極的な対応
 - ・ 範囲を広めに設定した予防的な休業の実施
 - ・ 基準に沿った休業措置の徹底
 - ・ 臨時休業時のオンライン学習及び出席停止の児童生徒への個別のオンライン学習の実施
 - ・ 寒冷な時季においても、サーキュレーターやCO2モニター等の活用をはじめ、学校薬剤師等と連携して適切に換気を実施



○ 部活動、大会等での感染症対策の徹底

- ・ 感染制御の専門家による部活動顧問を対象とした研修会の実施
- ・ スポーツ団体等で構成する連携会議での対応の共有
- ・ 全道、全国大会の実施・延期・中止の考え方の共有



【健康・行動チェック】

日常生活をはじめ、修学旅行、部活動の大会等の事前・事後などの各場面において、児童生徒一人一人がICTを活用した入力フォーム「さあチェック」等による健康・行動チェックを確実にを行い、教職員間で情報共有する。

みんな安心「さあチェック（SA-Check（セーフティ&アクションチェック））」

資料 2

趣旨

いかなる状況でも、平常の教育活動を止めることなく実施するため、Googleフォーム（以下、「フォーム」という。）を活用した点検・確認等により、感染予防及び感染拡大防止を図ります。

実施概要

生徒がスマホ等から入力開始



平常時

“さあチェック” [everyday]

（「体調・行動等入力フォーム」への入力）

- 従前と同様に、生徒が毎朝、登校前にフォームに回答
- チェック項目（以下の項目は従前と同様）
 - ・朝の体温・今の症状（「良好」、「せき」等のリストから選択）
 - ・同居の家族に風邪症状ある方の有無・感染リスクの高まる場所へ行ったか
- 担任又は学年の担当者が一覧で状況を確認

平常時

“さあチェック” [everyweek]

- 日常取るべき行動等について、生徒が毎週月曜日にフォームに回答
- チェック項目（以下、主な項目を記載）
 - ・必要に応じて、正しく手を洗い、手指消毒を行う
 - ・食事の際は、「黙食」を行う など
- 担任又は学年の担当者が一覧で状況を確認

QR
コード

学校で作成した
QRコードを
添付して、生徒に
周知できます。

“さあチェック” [部活動用]

平常時

- 生徒が毎日フォームに回答
- 顧問が一覧で状況を確認

大会前・大会中

- 生徒が大会前（2週間前・1週間前・前日等）及び大会中にフォームに回答
- 部活動のミーティング等で活用
- 顧問が一覧で状況を確認

QR
コード

“さあチェック” [学校行事用]

準備～実施

- 生徒が、行事の準備開始から実施まで、1週間間隔でフォームに回答
- ホームルーム活動等で活用
- 担任等が一覧で状況を確認

QR
コード

“さあチェック” [修学旅行用]

旅行前

- 生徒が旅行前（2週間前・1週間前・前日等）にフォームに回答
- ホームルーム活動等で活用
- 担任等が一覧で状況を確認

旅行中

- 生徒が毎朝フォームに回答
- 班会議等で活用
- 担任等が一覧で状況を確認

QR
コード

目的

安全で安心な社会づくりに貢献できる資質・能力の育成を目指して、本道の高校生による防災サミットを開催し、地震、津波、火山噴火、暴風雪などの自然災害に対する高校生の防災・減災に関する提言とするとともに、生徒会等を中心とした高校生の防災ネットワークの構築を図る。

令和元年度
「世界津波の日」
高校生サミット成果

・災害分野の専門家

- 1 地震
- 2 津波
- 3 風水害
- 4 暴風雪
- 5 火山

大学教授
札幌管区気象台
道総務部危機対策課
国土交通省北海道開発局 等

参加者 27校 87名（全管内から参加）

○主会場（札幌会場）

TKP札幌赤レンガ前

○地方会場（14管内）

各管内の高校生及び教員対象 Zoomによる参加

1 【講演】～事前オンデマンド

「地域防災の担い手として高校生に期待すること」
外部講師

2 【分科会】

- ・テーマ
 - ①災害時に自らの命を守り抜くために
 - ②地域防災力の向上のために
 - ③私たち1人1人の防災意識を高めるために
 - ④教員向け分科会
- ・参加者による実践発表
- ・協議・交流、提言の作成

3 【全体会】

・意見交換、提言作成・発表
「北海道の防災・減災に向けた、わたしたちの提言」

主会場 配信元 （札幌市）

- ・札幌市内の学校
- ・津波サミット参加校

地方会場 （全14管内）

- ・参加校 27校
- ・参加生徒数 87名

Zoom併用

全道へ発信

～ 部活動を地域で実践していくために ～

地域部活動推進フォーラム

主催：北海道教育委員会

少子化の影響や教員の業務負担などから、現在、部活動のあり方が問われています。こうした中、国は持続可能な部活動の実現に向けて、将来的に部活動を地域へと移行する方向性を示しました。

この機会に、今後の望ましい部活動の在り方について、皆さんと一緒に考えてみませんか？



部活動の数が減っているって本当なの？

教員が多忙なのは部活動指導のせい？

部活動の維持発展のためにはどうすればいいの？

オンライン開催

令和 3 年 (2021年)

11/20^土

14:00～15:30



開催概要

- 部活動改革に関する国の方向性等の説明
- 「地域部活動」の取組に関する実践報告
- 参加者による意見交換
- YouTube視聴者からのコメント紹介 など

参加方法

◆オンライン (YouTube) で参加・視聴できます。

(事前申込不要・参加無料)

下記の道教委HPからアクセスしてください。

<https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksi/hatarakikata/bukatsudo.html>



◆リアルタイムでコメント投稿できます。

コメントはフォーラム内で紹介されることがあります。

※コメントするためには別途Googleのアカウントと

YouTubeチャンネルの作成が必要です。

コメンテーター紹介



川端 絵美 氏
オリンピック (アルペンスキー)
 カルガリー・アルペールビル・
 リレハンメル五輪出場
 アルペンスキー指導者・解説者
 北海道教育委員会委員



石塚 大輔 氏
スポーツデータバンク株式会社代表取締役
 スポーツ審議会スポーツ基本計画部会委員
 (スポーツ庁)
 地域×スポーツクラブ産業研究会委員
 (経済産業省)

事前の意識調査にご協力を

◆フォーラムに先立ち、活動に関する皆様の「意識調査」(アンケート)を実施しますので、ぜひ御協力をお願いします。

以下からアクセスしてください。

<https://www.harp.lg.jp/uyJqY6of>



<問合せ先>

北海道教育庁教職員局 教職員課 部活動対策推進係
 〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館7階
 TEL : 011-206-6067 FAX : 011-232-1051
 E-mail : kyoiku.bukatsu@pref.hokkaido.lg.jp

